

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	音楽A		
英文授業科目名	Music A		
開講年度	2006年度	開講年次	1、2年次
開講学期	1、3学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	長岡 英		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
mnagaoka@za3.so-net.ne.jp	

<p>【主題および達成目標】</p> <p>西洋音楽史--クラシック名曲を通して--</p> <p>西洋音楽は私たち日本人の生活の中に溶け込んでいて、テレビ・コマーシャルや携帯電話の着メロなどに、さまざまなクラシックが使われている。音楽A、Bの授業では、耳にする機会が多い有名な曲を毎回1曲ずつ取り上げ、作曲家やその音楽を文化的・社会的コンテキストの中に位置づけることにより、西洋音楽史を概観する。今年度は前期に古典派とロマン派前半の音楽を、後期はロマン派後半、20世紀、及び中世・ルネサンス、バロック音楽をこの順序で扱う。</p> <p>音楽の本来の姿は「鳴り響き」である。したがって試験は、授業で取り上げた曲のいくつかを聞いて、作曲家名、題名などを同定したうえでその曲に関して論述する、リスニング問題を中心にする。西洋クラシック音楽に関する、大学生としての教養・常識を身につけることが目標である。</p>

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>なし。ただし、原則として音楽Bは音楽Aを履修した者が履修できる。</p>
--

<p>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</p> <p>世界史と音楽の基礎知識があることが望まれる。</p>

電気通信大学 平成18年度シラバス

【教科書等】

教科書：久保田 慶一、ほか「はじめての音楽史」音楽之友社

【授業内容とその進め方】

音楽A

- 第1回 モーツァルト 交響曲第41番「ジュピター」
4/19 休講
- 第2回 モーツァルト 歌劇「魔笛」
- 第3回 モーツァルト 「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」
- 第4回 ベートーヴェン 交響曲第6番「田園」
- 第5回 ベートーヴェン ピアノソナタ「月光」
- 第6回 シューベルト 歌曲
- 第7回 ベルリオーズ 幻想交響曲
- 第8回 メンデルスゾーン ヴァイオリン協奏曲
- 第9回 ショパン ピアノ曲
- 第10回 シューマン 連作歌曲「詩人の恋」
- 第11回 ヴェルディ 歌劇「アイーダ」
- 第12回 ヴァーグナー 楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」
- 第13回 ブラームス 交響曲第4番
- 第14回 予備日

参考：音楽B

- 第1回～第5回 国民楽派
- 第6回 印象派
- 第7回～第9回 20世紀の音楽
- 第10回～第12回 中世・ルネサンスの音楽
- 第13回～第15回 バロック音楽
- 第16回 予備日

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

2 / 3 以上出席して学期末試験を受けることが採点の対象となる条件。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けないので、電子メールで連絡してください。

電気通信大学 平成18年度シラバス

【学生へのメッセージ】
毎時間、受け身で音楽を聞き流すのではなく、音楽自体も覚えようとする積極的な態度が必要である。

【その他】